

令和4年

家計調査概要 福井市の家計

令和5年3月

福 井 県



# 目次

## 結果の概要

1 二人以上の世帯の家計の概要	
(1) 支出の動向	1
(2) 消費支出の内訳	1
2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要	
(1) 収入の動向	3
(2) 支出の動向	3
(3) 家計収支の内訳	4
3 消費支出からみた福井市の特徴	7

## 利用者のために

1 調査の概要	11
2 用語の説明	13
3 家計収支関連図	15

## 利用上の注意

利用に当たっては、特に次の事項に注意してください。

- ① この調査結果は、総務省統計局において集計した結果のうち、福井市の二人以上の世帯の分をとりまとめたものです。
- ② 調査結果は、農林漁家世帯を含む世帯を集計した結果です。
- ③ 統計数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも計に一致しません。
- ④ この調査は標本調査で、調査世帯は毎月順次交替しています。  
福井市の調査世帯は104世帯(二人以上の世帯96世帯、単身世帯8世帯)です。
- ⑤ 調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいと考えられますので参考値として御利用ください。  
また、前年や全国の結果と数値を比較するには注意が必要です。

# 結果の概要

# 1 二人以上の世帯の家計の概要

・福井市：集計世帯数 93、平均世帯人員 3.05人、平均有業人員 1.25人、世帯主の平均年齢 62.6歳  
・全 国：集計世帯数 7,341、平均世帯人員 2.91人、平均有業人員 1.33人、世帯主の平均年齢 60.1歳  
令和4年の福井市の二人以上の世帯の1世帯当たりの1か月の消費支出の概要は、次のとおりです。  
(統計表 第1表・第2表・第5表)

## (1) 支出の動向

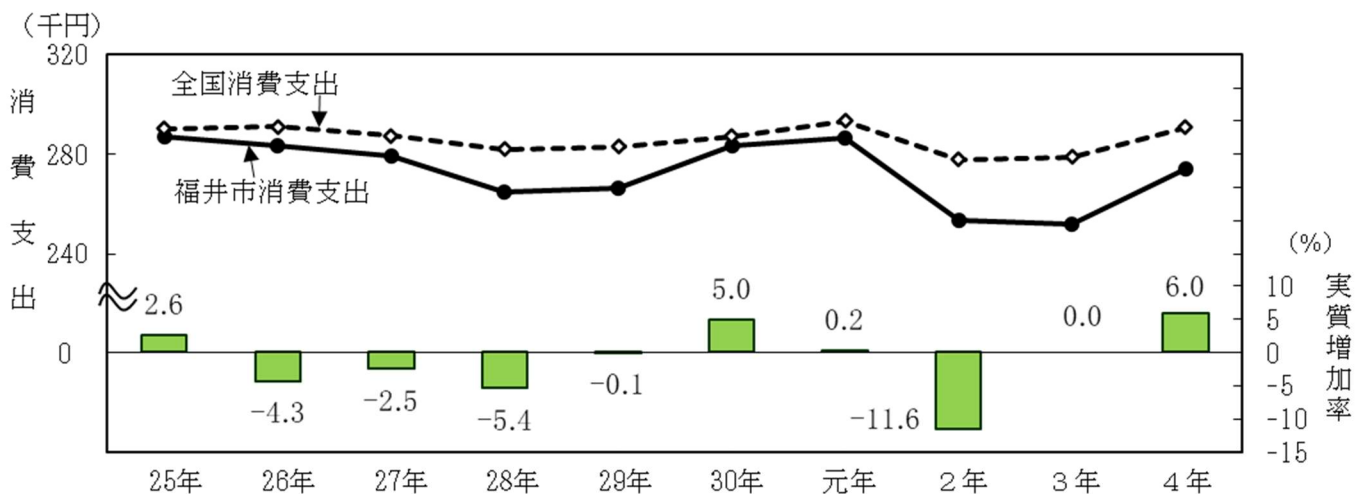
二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均274,299円となり、前年に比べ名目8.8%増加、実質6.0%増加となりました。

また、全国は1か月平均290,865円となり、前年に比べ名目4.2%増加、実質1.2%増加となっています。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、すべての年で全国値を下回っています。

また、実質増加率の推移をみると、令和2年に大幅に減少しましたが、令和4年は増加に転じました。

図1 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯)



## (2) 消費支出の内訳

### ① 令和4年平均と直近3年平均(令和2年～令和4年)

二人以上の世帯の1世帯当たりの消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が27.4%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となりました。

また、全国も、食料が26.6%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となっています。

なお、3年平均をみても、同程度の構成比となっています。

表1 福井市と全国の令和4年平均消費支出と3年平均消費支出(二人以上の世帯)

	令和4年平均				3年平均(令和2年～令和4年)			
	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)
世帯人員(人)	3.05	-	2.91	-	2.95	-	2.93	-
有業人員(人)	1.25	-	1.33	-	1.30	-	1.34	-
世帯主の年齢(歳)	62.6	-	60.1	-	62.0	-	60.0	-
消費支出(円)	274,299	100.0	290,865	100.0	260,055	100.0	282,605	100.0
食料	75,027	27.4	77,474	26.6	74,383	28.6	76,558	27.1
住居	6,220	2.3	18,645	6.4	10,936	4.2	18,113	6.4
光熱・水道	27,273	9.9	24,522	8.4	25,743	9.9	22,629	8.0
家具・家事用品	11,646	4.2	12,121	4.2	10,987	4.2	12,197	4.3
被服及び履物	8,214	3.0	9,106	3.1	7,488	2.9	8,871	3.1
保健医療	11,522	4.2	14,705	5.1	12,106	4.7	14,385	5.1
交通・通信	45,519	16.6	41,396	14.2	37,822	14.5	40,336	14.3
教育	7,808	2.8	11,436	3.9	8,904	3.4	11,209	4.0
教養娯楽	22,948	8.4	26,642	9.2	22,875	8.8	25,157	8.9
その他の消費支出	58,123	21.2	54,817	18.8	48,812	18.8	53,148	18.8
エンゲル係数※1(%)	27.4	-	26.6	-	28.6	-	27.1	-

※1) エンゲル係数=食料÷消費支出×100

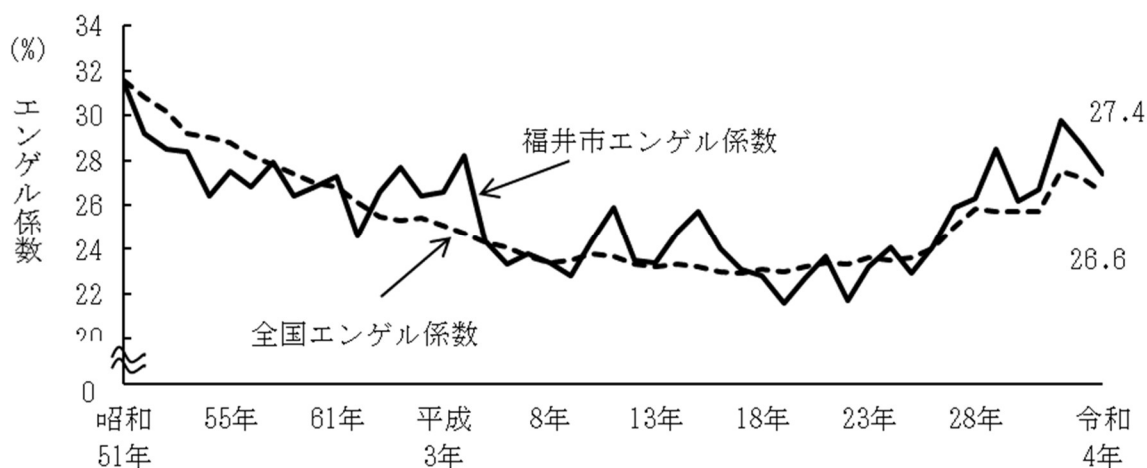
② エンゲル係数

福井市の令和4年の二人以上の世帯のエンゲル係数(消費支出の中に占める食料の割合)は、27.4%と、前年(28.7%)と比べ1.3ポイント減少しました。全国では26.6%と、前年(27.2%)と比べ0.6ポイント減少しました。

福井市のエンゲル係数の推移については、増減は激しいものの平成25年以降は上昇傾向です。

また、全国のエンゲル係数の推移については、平成13年ごろまではおおよそ減少傾向にあり、25年ごろまでは横ばいで推移していましたが、それ以降は上昇傾向です。

図2 エンゲル係数の推移(二人以上の世帯)



## 2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要

- ・福井市：集計世帯数 43、平均世帯人員 3.50人、平均有業人員 1.81人、世帯主の平均年齢 50.5歳
  - ・全 国：集計世帯数 3,986、平均世帯人員 3.24人、平均有業人員 1.79人、世帯主の平均年齢 50.4歳
- 令和4年の福井市の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たりの1か月の家計収支の概要は、次のとおりです。（統計表 第3表・第4表・第5表）

### (1) 収入の動向

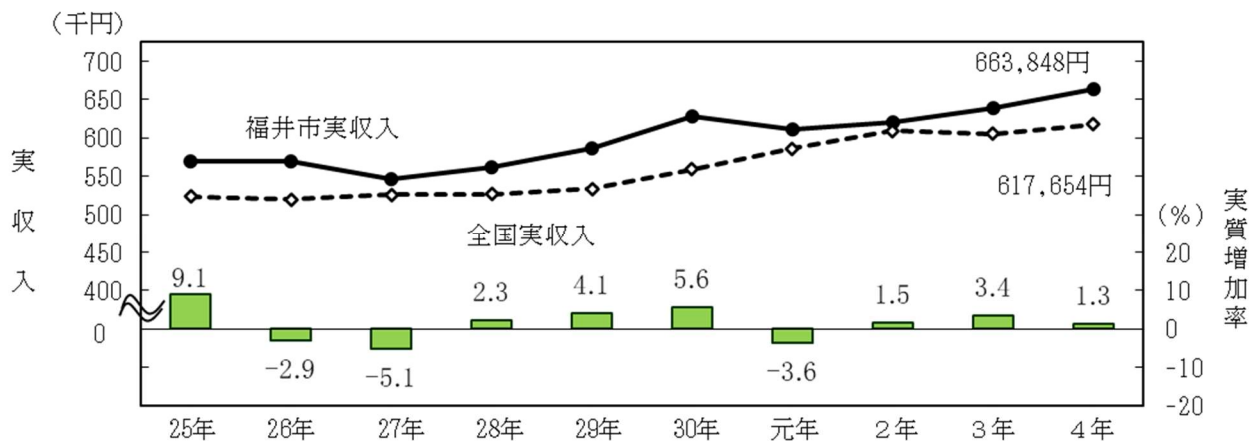
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1か月平均663,848円となり、前年に比べ名目3.9%増加、実質1.3%増加となりました。

また、全国は、1か月平均617,654円となり、前年に比べ名目2.0%増加、実質1.0%減少となりました。

過去10年の福井市の実収入の推移をみると、すべての年で全国値を上回っています。

また、実質増加率の推移をみると、28年以降は令和元年のみ減少したものの、おおむね増加傾向で推移しています。

図3 実収入および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

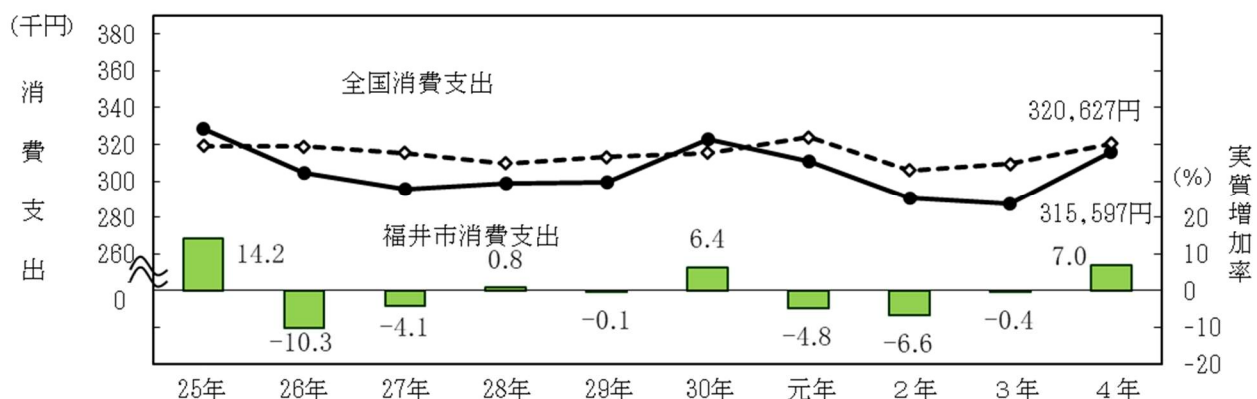


### (2) 支出の動向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1か月平均315,597円となり、前年に比べ名目9.8%増加、実質7.0%増加となりました。また、全国は、1か月平均320,627円となり、前年に比べ名目3.6%増加、実質0.6%増加となりました。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、令和元年以降は全国値を下回る傾向が続いています。実質増加率の推移をみると、令和元年以降減少傾向でしたが、令和4年は増加に転じました。

図4 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### (3) 家計収支の内訳

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入の内訳をみると、福井市は、世帯主収入が64.2%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となっています。

また、全国も、世帯主収入が73.0%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となっています。

なお、福井市の実収入は全国平均を上回っており、世帯主の配偶者の収入および他の世帯員収入も全国平均を上回っています。

消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が25.5%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となりました。

また、全国も、食料が25.1%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となっています。

家計収支バランスをみると、福井市の平均消費性向は56.9%と、全国平均(64.0%)を下回っていますが、福井市の平均貯蓄率は38.2%と、全国平均(33.6%)を上回っています。

なお、3年平均をみても、同等の傾向になっています。

表2 福井市と全国の令和4年平均家計収支と3年平均家計収支(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

	令和4年平均				3年平均(令和2年~令和4年)			
	福井市	構成比(%)	全国	構成比(%)	福井市	構成比(%)	全国	構成比(%)
世帯人員(人)	3.50	-	3.24	-	3.40	-	3.28	-
有業人員(人)	1.81	-	1.79	-	1.85	-	1.79	-
世帯主の年齢(歳)	50.5	-	50.4	-	51.1	-	50.1	-
実収入(円)	663,848	100.0	617,654	100.0	641,234	100.0	610,835	100.0
世帯主収入	426,350	64.2	450,906	73.0	414,142	64.6	442,442	72.4
世帯主の配偶者の収入	125,307	18.9	97,378	15.8	109,867	17.1	92,672	15.2
他の世帯員収入	40,976	6.2	15,728	2.5	36,132	5.6	15,508	2.5
その他の収入	71,214	10.7	53,643	8.7	81,092	12.6	60,213	9.9
消費支出(円)	315,597	100.0	320,627	100.0	297,836	100.0	311,969	100.0
食料	80,562	25.5	80,502	25.1	79,008	26.5	79,525	25.5
住居	5,014	1.6	20,115	6.3	13,327	4.5	19,596	6.3
光熱・水道	26,274	8.3	24,421	7.6	25,749	8.6	22,522	7.2
家具・家事用品	12,242	3.9	13,000	4.1	12,249	4.1	13,028	4.2
被服及び履物	11,430	3.6	11,293	3.5	9,811	3.3	10,803	3.5
保健医療	10,944	3.5	13,708	4.3	11,629	3.9	13,302	4.3
交通・通信	63,670	20.2	50,688	15.8	50,417	16.9	49,890	16.0
教育	13,831	4.4	18,126	5.7	14,916	5.0	17,957	5.8
教養娯楽	27,222	8.6	29,737	9.3	26,719	9.0	28,004	9.0
その他の消費支出	64,408	20.4	59,036	18.4	54,009	18.1	57,343	18.4
非消費支出(円)	109,170	-	116,740	-	110,786	-	113,423	-
可処分所得※2(円)	554,677	-	500,914	-	530,447	-	497,411	-
黒字※3(円)	239,080	-	180,286	-	232,611	-	185,442	-
貯蓄純増(円)	211,741	-	168,218	-	207,216	-	170,816	-
平均消費性向※4(%)	56.9	-	64.0	-	56.1	-	62.7	-
平均貯蓄率※5(%)	38.2	-	33.6	-	39.1	-	34.3	-
エンゲル係数※1(%)	25.5	-	25.1	-	26.6	-	25.5	-

※1) エンゲル係数=食料÷消費支出×100

※2) 可処分所得=実収入-非消費支出

※3) 黒字=実収入-消費支出-非消費支出

※4) 平均消費性向=消費支出÷可処分所得×100

※5) 平均貯蓄率=貯蓄純増÷可処分所得×100

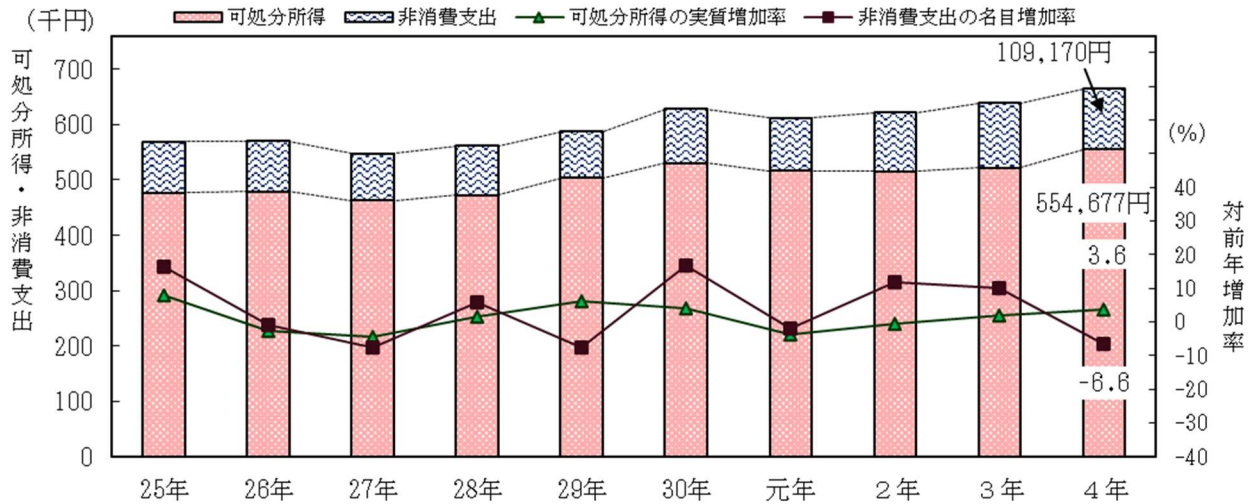


### ① 可処分所得

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の可処分所得は、1か月平均554,677円となり、前年に比べ名目6.3%増加、実質3.6%増加となりました。

非消費支出は、1か月平均109,170円となり、前年に比べ名目6.6%減少となりました。

図5 可処分所得額・非消費支出額および対前年増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

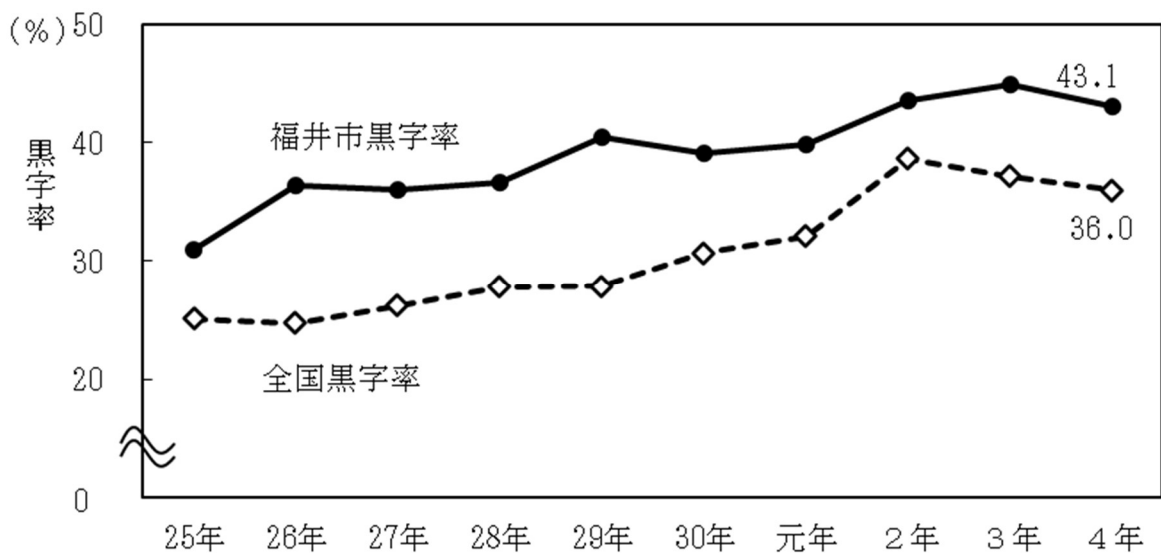


### ② 黒字率

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の黒字率(可処分所得に対する黒字の割合)は43.1%となり、前年(44.9%)を1.8ポイント下回りました。

なお、全国の黒字率は36.0%となり、前年(37.2%)を1.2ポイント下回りました。

図6 黒字率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### ③ 平均消費性向

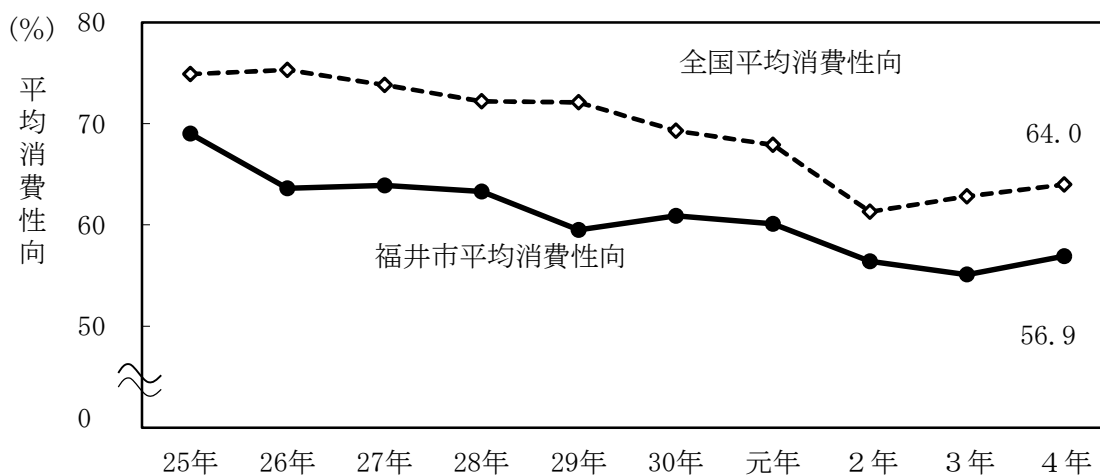
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)は56.9%となり、前年(55.1%)を1.8ポイント上回りました。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向は64.0%となり、前年(62.8%)を1.2ポイント上回りました。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を下回っています。

また、全国および福井市ともに減少傾向でしたが、令和3年以降、増加に転じています。

図7 平均消費性向の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### ④ 平均貯蓄率

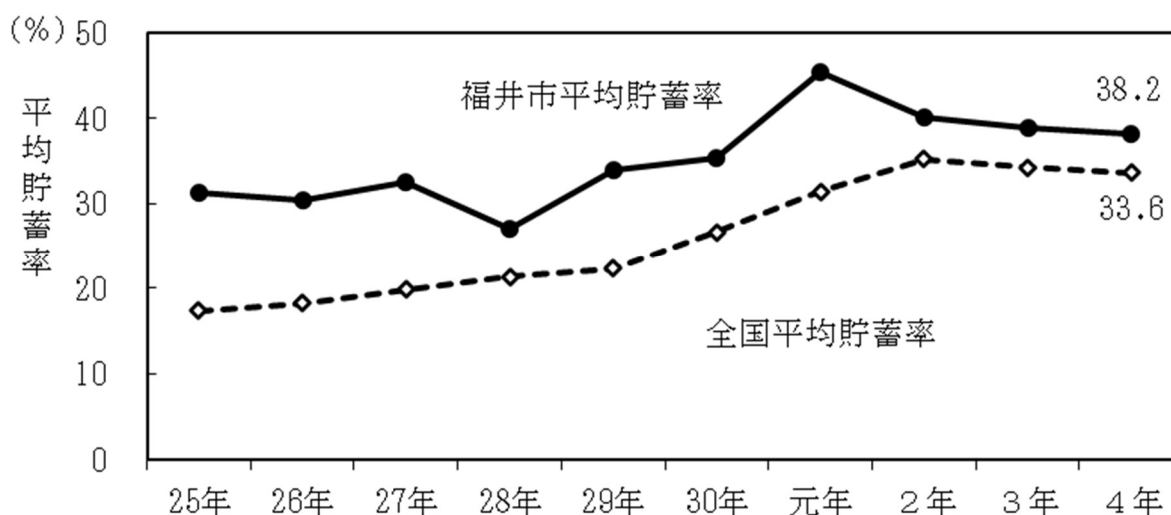
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率(可処分所得に対する貯蓄純増の割合)は、38.2%となり、前年(38.9%)を0.7ポイント下回りました。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率は33.6%となり、前年(34.2%)を0.6ポイント下回りました。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を上回っています。

また、全国および福井市ともに増加傾向でしたが、令和3年以降はともに減少しています。

図8 平均貯蓄率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### 3 消費支出からみた福井市の特徴

令和4年の二人以上の世帯の1世帯当たりの品目別年間支出金額における都道府県庁所在市別<sup>※6</sup>の主なランキングは次のとおりです。

ただし、購入頻度が少ないものに関しては毎年の変動が大きくなる場合があります。金額ベースでの全国平均との比較は統計表第7表をご覧ください。(統計表 第7表)

※6) 都道府県庁所在市に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市(都道府県庁所在市以外の政令指定都市)を含む52市

#### ○食料品

- ・「油揚げ・がんもどき」は品目別の集計が始まった昭和38年以降、60年連続1位となっています。
- ・「コロッケ」、「カツレツ」、「天ぷら・フライ」などの調理済み食品は上位にランキングされています。

( )内は前年の順位、[ ]内は今年の順位

【上位】	1位	2位	3位
令和4年	かに (4)	もち (5)	米 (10)
	油揚げ・がんもどき (1)	さといも (3)	せんべい (2)
	ようかん (2)	乾物・海藻 (23)	他の調理食品のその他 (8)
	コロッケ (1)	わかめ (34)	
	カツレツ (1)	こんぶ (1)	
	天ぷら・フライ (1)	こんぶつくだ煮 (4)	
		ふりかけ (2)	
他の調理食品 (4)			
3年平均	油揚げ・がんもどき [1]	かに [1]	もち [2]
	こんぶつくだ煮 [2]	さしみ盛合わせ [5]	やきとり [2]
	ようかん [1]	さといも [2]	他の調理食品のその他 [3]
	コロッケ [1]	こんぶ [2]	
	カツレツ [1]	ふりかけ [2]	
	天ぷら・フライ [1]	せんべい [3]	
		他の調理食品 [2]	

【下位】	50位	51位	52位
令和4年	豚肉 (36)	油脂・調味料 (52)	他の穀類のその他 (47)
	乳製品 (35)	食用油 (46)	ピーマン (50)
	油脂 (49)	調味料 (52)	ジャム (50)
	つゆ・たれ (50)	他の調味料 (51)	乾燥スープ (52)
	他の麺類外食 (47)	弁当 (52)	
		発泡酒・ビール風アルコール飲料 (39)	
3年平均	豚肉 [50]	他の麺類 [48]	油脂・調味料 [51]
	ごぼう [49]	小麦粉 [32]	ジャム [52]
	油脂 [50]	他の穀類のその他 [52]	
	つゆ・たれ [50]	かき(貝) [48]	
	他の茶葉 [36]	食用油 [51]	
	チューハイ・カクテル [47]	調味料 [51]	
		砂糖 [24]	
		乾燥スープ [52]	
	弁当 [51]		

○食料品以外

- ・寒冷な気候で世帯員の多い傾向にあるためか、「電気代」の支出金額が全国上位に上る傾向があります。
- ・また、「ケーブルテレビ放送受信料」の支出金額が令和4年・3年平均ともに全国トップとなっています。

( )内は前年の順位、[ ]内は今年の順位

【上位】	1位		2位		3位	
令和4年	国公立中学校	(5)	電気代	(1)	室内装備・装飾品	(49)
	音楽・映像収録済メディア	(38)	室内装飾品	(31)	男子用寝巻き	(27)
3年平均	ケーブルテレビ放送受信料	(1)			園芸用品	(15)
	理髪料	(12)			信仰・祭祀費	(33)
3年平均	音楽・映像収録済メディア	[1]	給排水関係工事費	[16]	他の家事用耐久財	[5]
	ケーブルテレビ放送受信料	[1]	電気代	[2]	介護サービス	[18]
			室内装飾品	[2]		
			国公立高校	[5]		

【下位】	50位		51位		52位	
令和4年	給与住宅家賃	(47)	設備修繕・維持	(17)	住居	(45)
	外壁・塀等工事費	(49)	工事その他のサービス	(28)	家賃地代	(52)
	都市ガス	(41)	ガス代	(52)	民営家賃	(52)
	他の室内装備品	(50)	タオル	(50)	他の工事費	(7)
	ベッド	(15)	家事用消耗品	(50)	他の家事用消耗品	(50)
	茶わん・皿・鉢	(33)	ポリ袋・ラップ	(51)	他の家事用消耗品のその他	(43)
	鍋・やかん	(8)	大人用運動靴	(40)	他の被服のその他	(49)
	男子用シャツ・セーター類	(41)	外傷・皮膚病薬	(52)	他の被服関連サービス	(38)
	他の被服	(51)	私立大学	(18)	他の外用薬	(39)
	履物類	(29)	ノート・紙製品	(50)	玩具	(37)
	医療	(46)	他の運動用具	(44)	浴用・洗顔石けん	(52)
	胃腸薬	(45)	ゲーム機	(24)	ヘアコンディショナー	(51)
	保健医療サービス	(46)	他の玩具	(39)	口紅	(52)
	他の入院料	(25)	他の印刷物	(51)		
	ゲームソフト等	(25)	宿泊料	(32)		
	他の入場・ゲーム代	(28)	他の放送受信料	(45)		
	理美容用電気器具	(51)	写真撮影・プリント代	(40)		
	歯ブラシ	(52)	教養娯楽賃借料	(31)		
	石けん類・化粧品	(45)	理美容用品	(50)		
	ファンデーション	(36)	他の理美容用品	(48)		
		シャンプー	(37)			
		歯磨き	(52)			
		化粧クリーム	(51)			

【下位】	3 年 平 均	家賃地代	[52]	ガス代	[51]	住居	[52]
		民営家賃	[52]	カーテン	[41]	外壁・塀等工事費	[50]
		工事その他のサービス	[51]	他の室内装備品	[50]	タオル	[51]
		他の台所用品	[24]	家事用消耗品	[51]	他の家事用消耗品	[52]
		他の家事用消耗品のその他	[52]	ポリ袋・ラップ	[51]	レンタカー・カーシェアリング料金	[49]
		歯科診療代	[42]	着尺地・生地	[45]	他の通信機器	[48]
		他の保健医療サービス	[47]	他の被服	[50]	他の印刷物	[51]
		携帯電話機	[44]	ネクタイ	[39]	遊園地入場・乗物代	[49]
		中学校補習教育	[39]	子供用靴下	[38]	写真撮影・プリント代	[51]
		電池	[28]	他の被服のその他	[52]	他の理美容用品	[51]
		他の放送受信料	[51]	外傷・皮膚病薬	[51]	歯磨き	[51]
		理美容用電気器具	[50]	マッサージ料金等(診療外)	[47]	通学用かばん	[31]
		歯ブラシ	[50]	バス代	[49]	住居(財・サービス)	[52]
		ファンデーション	[50]	バス通学定期代	[39]		
		他のバッグ	[43]	ノート・紙製品	[51]		
				玩具	[52]		
				ペット・他のペット用品	[47]		
				他のスポーツ施設使用料	[46]		
				浴用・洗顔石けん	[52]		
				口紅	[52]		
				身の回り用品	[35]		
				かばん類	[21]		
				旅行用かばん	[41]		
				他の身の回り用品	[35]		
				祭具・墓石	[42]		
				医療保険料	[49]		
				こづかい(使途不明)	[16]		

主な品目の他の都道府県庁所在市等との比較（3年平均）

もち

順位	都道府県	金額 (円)
1	金沢市	2,960
2	富山市	2,835
3	福井市	2,720

かこ

順位	都道府県	金額 (円)
1	鳥取市	4,681
2	福井市	4,006
3	金沢市	3,152

さしみ盛り合わせ

順位	都道府県	金額 (円)
1	北九州市	6,493
2	福井市	6,125
3	福岡市	5,914

さといも

順位	都道府県	金額 (円)
1	山形市	1,997
2	福井市	1,570
3	新潟市	1,433

こんぶ

順位	都道府県	金額 (円)
1	富山市	1,663
2	福井市	1,478
3	青森市	1,252

油揚げ・がんもどき

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	5,626
2	富山市	4,504
3	金沢市	4,107

こんぶつくだ煮

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	1,923
2	山形市	1,823
3	富山市	1,729

ふりかけ

順位	都道府県	金額 (円)
1	富山市	2,408
2	福井市	2,249
3	金沢市	2,136

ようかん

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	1,490
2	佐賀市	1,272
3	水戸市	1,213

せんべい

順位	都道府県	金額 (円)
1	水戸市	7,862
2	福井市	7,692
3	宇都宮市	7,629

コロッケ

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	3,210
2	富山市	2,828
3	京都市	2,750

カツレツ

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	3,924
2	富山市	3,360
3	甲府市	3,168

天ぷら・フライ

順位	都道府県	金額 (円)
1	福井市	17,051
2	富山市	15,759
3	新潟市	14,940

やきとり

順位	都道府県	金額 (円)
1	青森市	4,152
2	甲府市	3,743
3	福井市	3,682

利 用 者 の た め に

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を明らかにし、国の経済政策、社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的としています。

### (2) 調査の対象

家計調査は、学生の単身世帯を除いた全国の全世帯を対象としています。

なお、下記に掲げる世帯は、世帯としての収支を正確に測ることが難しいなどの理由から、除外しています。

- ・ 外国人世帯
- ・ 料理飲食店、旅館または下宿屋を営む併用住宅の世帯
- ・ 賄い付きの同居人がいる世帯
- ・ 住み込みの営業上の使用人が4人以上いる世帯
- ・ 世帯主が長期間(3か月以上)不在の世帯

### (3) 調査の方法

学生の単身世帯等を除いた全国の世帯から抽出し、選定した約9,000世帯を調査し、その結果から全国の世帯の家計収支を推定する標本調査です。

### (4) 調査世帯の選定

国勢調査の結果を用いて、全国の市町村を地理的位置、人口の規模、産業的特色などの特性を考慮して層別し、各層から1市町村ずつ(全国で168市町村)を抽出します。

次に、抽出された市町村内に設置されている国勢調査の調査区に基づいて調査単位区を設定し、全国で1,358単位区を無作為に抽出します。そして、その単位区に住んでいる世帯の中から無作為に調査世帯を抽出する、層化3段抽出法に基づき選定しています。

調査単位区では1年間調査が行われ、二人以上の世帯は6か月間、単身世帯は3か月間の調査期間終了後、次の世帯と交替します。

福井県では、二人以上の世帯を120世帯(福井市96世帯、敦賀市24世帯)、単身世帯を10世帯(福井市8世帯、敦賀市2世帯)の計130世帯を調査しています。

### (5) 調査の内容

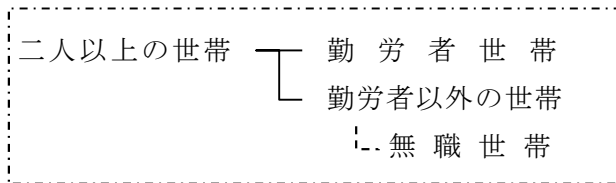
調査世帯に毎日「家計簿」をつけてもらい、勤労者世帯と無職世帯は、収入と支出を、その他の世帯は、支出のみを調査します。

また、年間収入や、貯蓄等の調査も行っています。



(6) 調査世帯の区分

- ア 勤労者世帯・・・世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などで雇われて勤めている世帯
- イ 勤労者以外の世帯・・・世帯主が自営業者、個人営業者や、会社役員、社長など使用者側にある世帯、無職世帯など、勤労者世帯以外のすべての世帯
- ウ 総世帯・・・・・・・・二人以上の世帯と単身世帯を合わせた世帯



## 2 用語の説明

- 1) 世帯・・・住居および生計を共にする人の集まり  
2) 世帯主・・・その世帯の主たる収入を得ている人 「3 家計収支関連図」参照

- 3) 実収入・・・税込みの現金収入（経常収入＋特別収入）  
4) 実収入以外の収入・・・現金が入るが、資産の減少または負債の増加が生じるもの  
5) 実支出・・・消費支出と非消費支出を合計したもの  
6) 消費支出・・・日常生活に必要な支出で、仕送り金や贈与金も含まれる  
7) 非消費支出・・・税金、社会保険料など世帯の自由にならない支出  
8) 実支出以外の支出・・・現金が支出されるが、資産の増加または負債の減少が生じるもの

- 9) 可処分所得・・・手取収入（実収入－非消費支出）  
10) 黒字・・・マイナスの場合は赤字を示す（実収入－実支出）  
11) 貯蓄純増・・・（預貯金預入－預貯金引出）＋（保険掛金－保険取金）  
12) 平均消費性向・・・生活の余裕の度合いを表す指標（一般に収入の高い世帯ほど、小さくなる）

$$\frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 13) 黒字率・・・家計の余裕の度合いを計る指標

$$\frac{\text{黒字}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 14) 平均貯蓄率・・・ $\frac{\text{貯蓄純増}}{\text{可処分所得}} \times 100$

- 15) エンゲル係数・・・生活水準の高低を表す指標（一般にエンゲル係数が低いほど生活水準が高い）

$$\frac{\text{食料}}{\text{消費支出}} \times 100$$

- 16) 実質金額指数・・・ $\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{令和2年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{100} \right) \times 100$

- 17) 名目増加率・・・前年の金額に対する今年金額の伸びのこと

$$\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} - 1 \right) \times 100$$

- 18) 実質増加率・・・名目増加率から物価の上昇分を除いたもの

消費支出の各項目ごとの実質増加率は次式により求めている。

$$\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{\text{前年の消費者物価指数}} - 1 \right) \times 100$$

ただし、「実収入」、「可処分所得」、「消費支出」、「その他の消費支出」、「こづかい(使途不明)」、「交際費」および「仕送り金」は消費者物価指数の「持家の帰属家賃を除く総合」、「家賃地代」は「持家の帰属家賃を除く家賃」を用いている。

### 3 家計収支関連図

収入総額	実収入	経常収入	勤め先収入	世帯主収入 世帯主の配偶者の収入 他の世帯員収入
			事業・内職収入	家賃収入 他の事業収入 内職収入
			他の経常収入	財産収入 社会保障給付金 仕送り金
	特別収入	受贈金 その他		
実収入以外の収入			預貯金引出金 保険取金 有価証券売却 土地家屋借入金 他の借入金 分割払購入借入金 一括払購入借入金 財産売却 その他	
	繰入金			
支出総額	実支出	消費支出	食住料 光熱水 家具・家事用品 被服及び履物 保健医療 交通・通信 教育 養娯 その他の消費支出	
		非消費支出	勤労所得税 個人住民税 他の税 社会保険料 他の非消費支出	
	実支出以外の支出		預貯金 保険掛金 有価証券購入 土地家屋借金返済 他の借金返済 分割払購入借入金返済 一括払購入借入金返済 財産購入 その他	
	繰越金			





令和4年  
**家計調査概要**  
福井市の家計

令和5年3月発行

編集・発行 福井県  
地域戦略部統計調査課  
人口統計グループ

〒910-8580  
福井市大手3丁目17番1号  
電話 0776-20-0273 (直通)  
0776-21-1111 (代表)  
内線 2376

福井県統計調査課ホームページ

福井県家計調査

検索